

らっている。

本修了証書は、セミナー修了者の所属機関が試験所認定を受ける際、技術教育履歴として実績評価されることが試験所認定機関との間で合意されている。

Ⅷ 関西分析研究会報告 西原克浩（住金）

年3回の例会・見学会（半日）を平成19年度から年1回の例会（1日）に変更しての試験的運営となった。本年度の例会は、教育的観点から、関西地区の材料系学科の学生・院生の合同発表会として、12月5日（水）に島津製作所 関西支社 マルチホールで開催され、参加者は40名であった。2件の依頼講演および8件の学生・院生の発表終了後、官学および企業からの参加者による投票で最優秀講演賞1件、優秀講演賞3件および特別賞1件を決定し、表彰した。賞状および日本鉄鋼協会または日本金属学会1年分の学生会費を授与した。

講演題目と発表者は以下の通りである。

- ・依頼講演：「ゼオライトを利用するシングルサイト光触媒の設計と応用」阪大工・山下弘巳
- ・依頼講演：「置換アパタイトの構造と環境浄化への応用」阪府大工・中平 敦
- ・「硫黄化合物の酸化状態に対する EXEFS と XANES の比較」京大工・工藤智行 (M2)：優秀講演賞
- ・「連続 X 線スペクトルと黒体放射スペクトルの相関についての研究」京大工・原田博規 (M1)
- ・「全電子収量軟 X 線吸収分光法による黒鉛系炭素表面酸化の定量分析法」兵県大工・上田 聡 (M2)：優秀講演賞
- ・「放射光軟 X 線吸収分光法による食品分析の可能性；油菓子の酸化状態分析と液体状油脂の直接測定」兵県大工・鎌本啓志 (M1)
- ・「チタネートナノチューブの合成と構造評価」阪府大工・久保 敬 (D2)：最優秀講演賞



合同発表会の講演風景

- ・「疎水性メソポーラスシリカに吸着した TiO_2 光触媒による水中有機物の分解」阪大工・牧 圭一 (M2)
- ・「シングルサイト光触媒を用いた金属ナノ粒子触媒の調整」阪大工・三浦祐生 (M2)：特別賞
- ・「磁性酸化鉄ナノ粒子を内包したシングルサイト触媒の開発と構造解析」阪大工・近藤佑一 (M1)：優秀講演賞

平成20年度は、平成19年度に引き続き、関西における学生および院生の合同発表会を開催し、学生発表優秀表彰を行う。また、見学会も開催し、計2回の例会を行う予定である。



評価・分析・解析部会ニュースレターズ第22号 (PEMAC NEWSLETTERS, No. 22)

発行日: 平成20年3月17日 発行: (社) 日本鉄鋼協会 評価・分析・解析部会

編集担当: 広報・編集分科会

主査 平井昭司 (武蔵工業大学工学部)

TEL: 03-5707-2109, FAX: 03-5707-2109, E-MAIL: shirai@sc.musashi-tech.ac.jp

委員 相本道宏 (新日本製鐵)・石田智治(JFE スチール)・井田 巖 (JFE テクノリサーチ)・板

橋英之 (群馬大)・伊藤真二 (物質・材料研究機構)・小熊幸一 (千葉大)・西原克浩 (住友金属)・

薬袋佳孝 (武蔵大)

事務局: (社) 日本鉄鋼協会 学会・生産技術部門事務局 太田千恵子

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-2 新倉ビル 2 階

TEL : 03-5209-7012, FAX : 03-3257-1110, E-MAIL : ohta@isij.or.jp
